九州旅客鉄道㈱納め作業計画管理システム

村山　聡*
小佐野賢治*
松原啓介**

要　旨

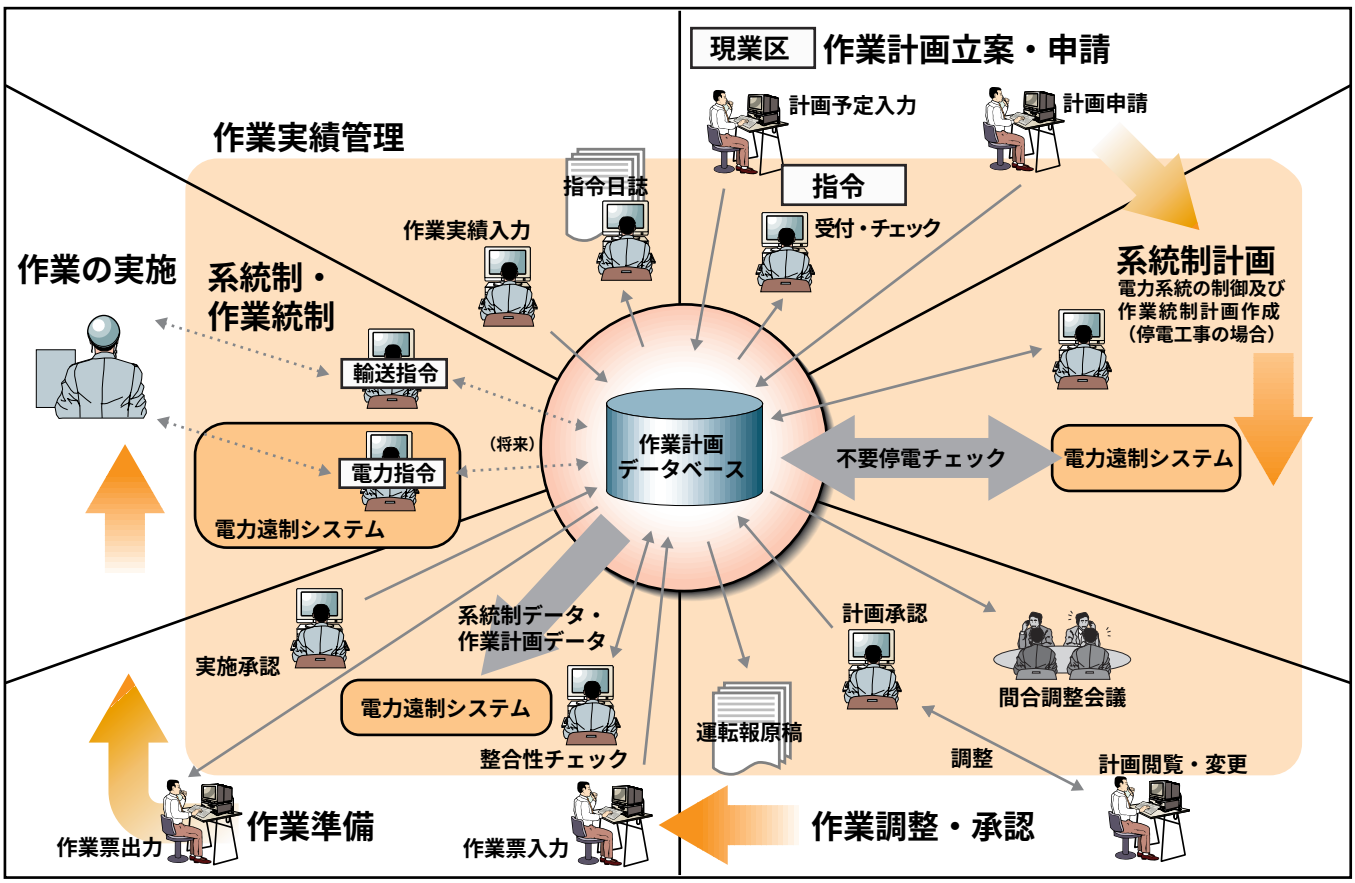
鉄道事業において列車の安全運行を確保するために，これを支える保線・電力・信号通信など各種設備の保守は極めて重要といえる。これらの設備保守業務は，作業の主体となる現業区とこれを統括する指令が中心となって計画され，実施される。しかしながら，その間には多くの手続きや調整を必要とし，申請書・帳票類の作成や転記，FAXや電話による関係各所との調整など，そのほとんどを人手に頼ってきた。特に指令においては，多くの現業区から申請される作業申込みの調整業務が集中し，負担となってきた。

九州旅客鉄道㈱では，従来の地域ごとの指令を１か所に統合した総合指令体制へ移行するに当たり，これらの業務効率化が大きな課題となった。

作業計画管理システムは，この課題を解決する目的で計画されたシステムであり，

(1) 保守計画情報の一元管理と共有化により，指令と現業区など関係部門間での情報交換と調整を支援
(2) 指令に集中する大量の作業申込みの集計，チェック，調整業務を支援
(3) 作業の計画から実施に至る情報の一元化を目指し，電力系統と保守作業実施の統制を行う電力遠制システムとも連携

などにより，保守作業の計画立案から実施に至る保守作業計画業務のトータルな効率化を目指している。



作業計画管理システムによる作業計画情報の共有

作業の計画，調整，承認といった部門間をまたがる業務に対して，それらにかかわる情報を作業計画データベースに一元管理し，共有を可能としている。また，作業計画に基づく電力系統の統制業務を行う電力遠制システムへもこの情報を提供している。

*三菱電機㈱情報システム製作所　**三菱電機システムウェア㈱